HEPHAIST

JASDAQ

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名　ヒーハイスト精工株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6433　URL　http://www.hephaist.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 尾崎　浩太
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長　(氏名) 佐々木　宏行　TEL 049-273-7000

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	918	―	△35	―	△41	―	△30	―
24年3月期第3四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△30百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　―百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△4.82	―
24年3月期第3四半期	―	―

(注)　平成25年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第3四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	4,257	2,993	70.3	479.52
24年3月期	―	―	―	―

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　2,993百万円　24年3月期　―百万円

(注)　平成25年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,270	―	△58	―	△68	―	△45	―	△7.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注)平成25年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	6,245,000 株	24年3月期	6,245,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,750 株	24年3月期	1,650 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	6,243,288 株	24年3月期3Q	6,243,350 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により一部に見られる緩やかな回復や12月の政権交代後の経済政策への期待感による円安基調への転換があるものの、欧州債務危機を背景にした金融市場の動揺、中国経済の変調等、海外経済の減速で依然先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済環境の下で、当社グループは、中国への本格的な販売を開始し、アジア展開への第一歩を踏み出しました。また、納期対応力、製品ラインナップの強化を図り、将来に向けて今やるべきことに最善を尽くし、販売展開及び生産性の向上に努めて参りました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては918,019千円となりました。

また、利益面につきましては、売上高の減少により、経常損失41,342千円となり、四半期純損失は30,094千円となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、国内需要の不振に加え、海外経済の減速を受け産業用機械業界等からの受注が減少し、当第３四半期連結累計期間の売上高は766,262千円となりました。

精密部品加工につきましては、一般受託加工部品及びレース用エンジン部品の受注増加により、売上高は91,349千円となりました。

ユニット製品につきましては、電子部品業界、液晶製造装置向け等の受注は、ほぼ横這いに推移し、売上高は60,407千円となりました。

なお、第１四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同期との比較分析は行っておりません。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は4,257,427千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が2,072,885千円、たな卸資産が811,583千円、現金及び預金が776,336千円、受取手形及び売掛金が438,789千円となっております。

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は1,263,688千円となりました。主な内訳は、長期借入金が730,523千円、支払手形及び買掛金が236,912千円、営業外支払手形が50,037千円となっております。

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,993,739千円となりました。自己資本比率は70.3％となっております。

なお、第１四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前期末との比較分析は行っておりません。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、現時点において平成24年11月12日公表の「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、重要な子会社の異動には該当しませんが、赫菲（上海）軸承商貿有限公司を、第１四半期累計期間から連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	776,336
受取手形及び売掛金	438,789
商品及び製品	186,762
仕掛品	307,942
原材料及び貯蔵品	316,878
その他	102,781
流動資産合計	2,129,490
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	770,288
機械装置及び運搬具（純額）	111,325
工具、器具及び備品（純額）	19,669
土地	1,063,504
リース資産（純額）	82,129
建設仮勘定	25,967
有形固定資産合計	2,072,885
無形固定資産	4,802
投資その他の資産	50,248
固定資産合計	2,127,936
資産合計	4,257,427
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	236,912
営業外支払手形	50,037
1年内返済予定の長期借入金	159,218
リース債務	11,560
未払金	17,936
未払法人税等	4,416
賞与引当金	3,335
その他	30,532
流動負債合計	513,948
固定負債	
長期借入金	571,305
リース債務	70,616
退職給付引当金	53,048
役員退職慰労引当金	53,698
その他	1,072
固定負債合計	749,740
負債合計	1,263,688

(単位：千円)

	当第３四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部	
株主資本	
資本金	717,495
資本剰余金	664,455
利益剰余金	1,612,198
自己株式	△183
株主資本合計	2,993,964
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△38
為替換算調整勘定	△187
その他の包括利益累計額合計	△225
純資産合計	2,993,739
負債純資産合計	4,257,427

(２) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
売上高	918,019
売上原価	661,238
売上総利益	256,781
販売費及び一般管理費	292,648
営業損失（△）	△35,866
営業外収益	
受取利息及び配当金	82
還付加算金	119
その他	314
営業外収益合計	515
営業外費用	
支払利息	4,797
為替差損	1,193
営業外費用合計	5,991
経常損失（△）	△41,342
特別損失	
固定資産除却損	353
特別損失合計	353
税金等調整前四半期純損失（△）	△41,695
法人税等	△11,601
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△30,094
四半期純損失（△）	△30,094

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△30,094
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△121
為替換算調整勘定	△8
その他の包括利益合計	△130
四半期包括利益	△30,224
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,224

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。